

## 平成28年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成28年4月～平成29年3月

### 1. 学校概要

学校名 豊橋市立天伯小学校

種別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫教育  
 中学校  中高一貫教育  高等学校  
 教員養成  技術/職業教育  
 特別支援学校  その他 ( )

所在地 〒441-8122  
豊橋市天伯町字高田山136番地の1

E-mail tenpaku-e@toyohashi.ed.jp

Website http://www.tenpaku-e.toyohashi.ed.jp

児童生徒数 男子 147 名 女子 157 名 合計 304 名  
 児童・生徒の年齢 6 歳～12 歳

### 2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ( 地域の歴史・産業 )

### 3. 活動内容

#### (1) 1年間の主な活動内容

	ESD 視点	重点単元	内 容
1年生活科	地域を知る	「あきって きもちがいいね」	トレーニングセンターでドングリ拾いを行って季節を味わった。また、行き帰りの道では木々の色づく様子や熟した木の実を発見し、自然への関心を高めた。
		「天伯保育園との交流会」	天伯保育園の園児を招き、学校生活や1年生の学習の紹介をした。自分の成長を感じ、下学年への接し方や上級学年としての役割を果たす姿勢が身についた。
2年生活科	地域を知る	「天伯大好き」	地域の施設等の見学や、地域の人へのインタビューを通して人と関わることで、天伯のよさに気づいた。また、校区にある自然史博物館の学芸員を招き、公園に住む生き物調べを行った。
3年総合社会	地域の産業にふれる	「農家の仕事」 「スイカを育てよう」	スイカや野菜づくり、酪農などの天伯の農業を支える人たちの工夫や願いについて学んだ。
4年総合社会	環境保全	「八田平川をふるさと川の川に」	八田平川の環境調査をし、清掃やEM菌放流をすることで、環境保全の難しさや自然を大切にすることの重要性について理解を深めた。
		「ごみのしよりと利用」	地域にある資源化センターの見学を通して、環境問題に関心をもった。
	地域の歴史にふれる	「天伯原の開拓」	開拓資料館を訪問し、地域の方から開拓当時の苦労を聞いたり、写真や道具等の資料を見たりして、天伯原の歴史を学んだ。
5年総合社会行事	地域と共に取り組む	「一粒の命を大切にしよう」	PTAとともに、実習田で田植え・草取り・稲刈りを実施した。また、脱穀・粃すりを一部手作業で行うなどの勤労体験を行った。 単元の終末には、全校行事である「感謝の会・もちつき会」で、収穫したもち米を使用した。日本の伝統や食文化を見直すとともに、地域の方のボランティア活動に感謝の気持ちをもった。
6年総合社会	地域の人にふれる	「ふれあいの輪を広げよう」	単元の導入では「車椅子の方からお話を聞く出前授業」、展開では「車椅子体験後にアドバイザーから指導をいただく出前授業」、終末では「校区内の老人ホーム訪問」の学習を組み立て、自分たちのできることに気づいた。
		「長く続いた戦争と人々の暮らし」	日本の戦争の様子や豊橋空襲の様子を聞き、戦争の悲惨さを知ることができた。経験者に語っていただくことで、「戦争を繰り返してはならない」「伝えなくてはならない」という思いを高めた。
にこに生単	地域の人にふれる	「手作りカレンダーを作ろう」	手作りのカレンダーを、校内だけでなく校区市民館や地域の集会場へ配付した。カレンダーの作成時に、学校の仲間や地域の方に喜んでもらえるよう、心を込めて作った。
全体	地域と共に取り組む	校区合同防災訓練	地域の方と一緒に防災訓練を行い、防災意識を高めた。地域防災リーダーの指導のもと、水消火器の扱い方や応急処置の方法について、学級ごとに体験、実習を行った。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）